

# R8学校いじめ防止基本方針

札幌市立稲積小学校

## 【 いじめ防止に向けた基本方針 】

- 子ども一人一人の健やかな成長を、安心して楽しく潤いのある教育活動の中で育みます。
- 「いじめ」を生まない、「いじめ」を許さない、笑顔とあいさつで繋がる学校づくりを進めます。
- 「いじめ」事案に対し「迅速かつ慎重・丁寧」に対処し、子どもの心の安定を図ります。

### 方策1 未然防止

#### ○学び合う学習の充実

- ・ペア交流、小交流、タブレットを活用したグループ学習の積極的な導入
- ・相互評価の取り入れ

#### ○規範意識の確立

- ・道徳や学活による規範意識の向上

#### ○自律的な活動の定着

- ・学級において一人一人の役割を果たす
- ・創造的な係、委員会活動の充実

#### ○異学年交流の充実

- ・異学年によるふれあい活動の計画実施

#### ○命を大切にする月間

- ・SCによる事例検討研修

#### ○情報モラルの指導

- ・SNS・ICTに関わるネットモラルの学習



### 【本校の状況】

- 児童数が229名の小規模校に該当する本校は、子どもたちの人間関係が固定化したり、一面的な見方が定着したりする傾向にある。
- 全教職員で子ども一人一人の行動傾向を把握し、その子のよさや困り感、指導の経過を共有していくことが可能である。



### 方策2 早期発見・対応

#### ○健康観察・行動観察の徹底

- ・登下校時における観察
- ・シャボテンログによる把握
- ・校内における児童の安全見守り

#### ○多面的な児童理解

- ・特別支援コーディネーター、SC等による情報共有
- ・保健室来室状況による児童理解

#### ○悩みや困り感の把握

- ・心のシートによるアンケート調査
- ・悩みやいじめのアンケート調査

#### ○配慮が必要な児童への対応

- ・情報共有と配慮事項の確認
- ・いじめ対策委員会の充実

#### ○いじめ・児童理解の研修

- ・命を大切にする指導の工夫

#### ○他関係機関との連携

- ・児童会館、SC、SSWとの連携

### 方策3 いじめへの対処

#### ○初期対応・事実確認

- ・多面的な情報収集（児童・教職員・保護者等）
- ・いじめ対策委員会（毎月1回）組織対応（各教職員の協働性）背景分析（時間的経過・客観的事実・SC、SSWの活用）支援体制（心のケア・SC）

#### ○被害児童への対応

- ・被害児童の安全安心の確保
- ・SC、SSWの支援計画や体制
- ・保護者への事案の情報公開

#### ○加害児童への対応

- ・事案への理解と自覚化
- ・解決に向けた保護者の理解
- ・SC、SSWによる支援
- ・周辺児童への指導と学級づくり

#### ○いじめ対処の考察と改善

- ・事案をもとにした研修会の実施
- ・いじめ防止の取組の評価（方策1～3・チーム稲積）
- ・児童アンケートによる経年評価
- ・PDCAサイクルによる評価

※ 児童の命や安全を守ることを最優先に、いじめが犯罪行為に相当し得ると考えられる場合には、学校として、警察への相談・通報を行い、適切な援助を求める場合がある。